

公約実現へ
前進

特別養護老人ホーム 329床増設へ

「入りたいけど、入れない」「何時まで待てばいいの」...

市内『特養待機者』558名 深刻な実態

いま介護現場が深刻です。介護保険は導入後、今年で14年目。しかし、介護を背景とした悲惨な事件は後を絶ちません。

とりわけ、特別養護老人ホーム（以後、特養）の待機者は国全体で52万人。流山市内では毎年増加し、558名（H26年1月時点）にも達します。「いつ入れるの?」「老後が心配」との声が絶えませんでした。

**今年度100床増設
残り229床…3年かけて整備**

市議会でも、特養待機者の改善を求める声は超党派に広がっています。日本共産党流山市議団も、『特養増床』を市議選の重要公約に位置づけ、実現に向けた要請など議会内外で力を尽くしてきました。

4月10日発表された特養整備計画では、現在547床に加え、建設中100床、さらに229床をH27～29年度の3ヶ年で整備することに。市民要望の一步前進です。

市内各地区毎の特養待機者	
北部	184人
中部	120人
南部	151人
東部	103人
合計	558人

待機者推移	
H23年1月	570人
H24年1月	581人
H25年1月	581人

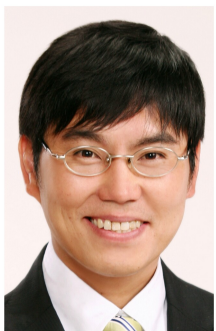
老後・くらしの安心へ力を合わせましょう

同時に課題も。市試算（下表）では、特養増床で待機者全体は減少予定ですが、今後4年間で特養希望者が増えないことが前提です。しかも今国会で審議中の『医療介護総合法案』を先読みし、要介護度1～2の待機者は減るどころか、増えています。『入所外し』『施設追い出し』が心配されます。

増床を保険料値上げに結びつける制度です。から、心配もつきません。

高齢者だけの問題とせず、いくつになっても安心して過ごせる流山市へ、力を合わせましょう。

介護度	市内の特養待機者		
	H26年1月	H27年1月 (見込み)	H30年1月 (見込み)
要介護1	75人	76人	79人
要介護2	84人	86人	92人
要介護3	149人	154人	122人
要介護4	122人	132人	47人
要介護5	128人	138人	23人
合計	558人	586人	363人



日本共産党市議会議員

小田桐たかし